

2012 年度 入学 試験 問題

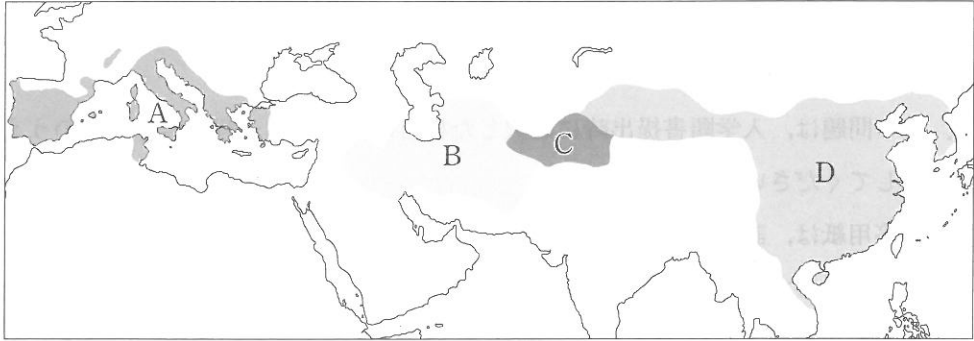
世界史 B

(試験時間 14:50~15:50 60分)

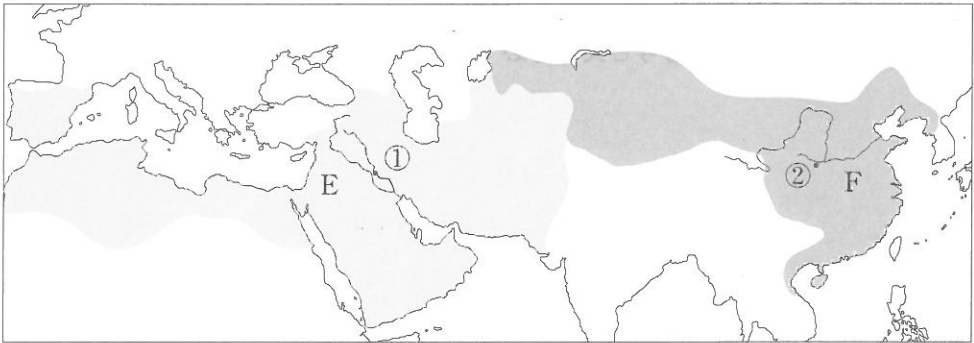
1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。

I つぎの2枚の地図は、それぞれ、アフロ=ユーラシア史上の一時期における諸国のおおよその版図を示したものである（海岸線および河川の流路は現在のもの）。これらを見たうえで、下記の【設問】に答え、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。（26点）

地図1



地図2



【設問】

(1) 地図1に示された諸国の歴史について述べたつぎの文章a～cを年代の古い順に正しく並べ替えたものを、下のア～カのうちから1つ選びなさい。

- a Aがプトレマイオス朝を征服した。
- b Bが建国された。
- c Dにおいて諸侯の反乱が鎮圧され、中央集権が確立された。

- ア a→b→c
- イ a→c→b
- ウ b→a→c
- エ b→c→a
- オ c→a→b
- カ c→b→a

(2) A・Dでは、大土地所有の進展によって、社会・経済上の変化が生じたと考えられている。そのことをふまえたうえで、つぎの問いに答えなさい。

問1 地図1の時期のAにおいて、大土地所有の制限をめざす改革を試みたのは誰か。

問2 Dの王朝が一時断絶する直前期に、豪族の台頭を抑えるため打ち出された土地政策を何というか。漢字で答えなさい。

- (3) Bの文化について述べたつぎの文の空欄（あ）に入れるのに最も適当なものを、下のア～エのうちから1つ選びなさい。

Bではやがて（あ）語文化圏からの自立が進み、公用語も（あ）語からペルシア語に変わっていった。

- ア ギリシア
- イ ラテン
- ウ アラビア
- エ アッシリア

- (4) つぎの文章は、Dにおいて著された書物の一節を現代日本語に訳したものである。これを読み、下の問いに答えなさい。なお、読みやすさを考慮して、一部で文言を補ってある。

御史大夫はいった、「(中略) 先の皇帝が、外国から得られる利益をおしはかり、北や南の異民族の軍勢を値踏みされましたところ、相手は弱体でたやすく制圧でき、労少なくして実りは大きい、ということになりました。そこで情勢の変化に乗じて四方の異民族を討った結果、領域は（拡大の地理的限界である、西方の）山地や（東方・南方の）海浜に迫って長城にまでおよび、北方ではオルドスの外の地を奪い、（い）の本拠への道を開きました。(中略)」と。

- 問3 文章中の空欄（い）に入れるのに最も適当な遊牧民族の呼称は何か。漢字で答えなさい。

- 問4 下線部について、この皇帝が（い）を挾撃するためにCへ派遣した使節は誰か。漢字で答えなさい。

(5) 地図2の時期に起こった出来事として正しいものを、つぎのア～エのうちから1つ選びなさい。

ア 北インドでクトゥブ=ミナールが建築された。

イ クシュ王国がアクスム王国に滅ぼされた。

ウ 雲南に大理国が建国された。

エ モンゴル高原でウイグルが勃興した。

(6) Eの税制について述べたつぎの文章を読み、空欄(う)(え)に適切な語句を入れなさい。

Eではムスリムの平等が志向され、(う)人の各種特権が廃止された。

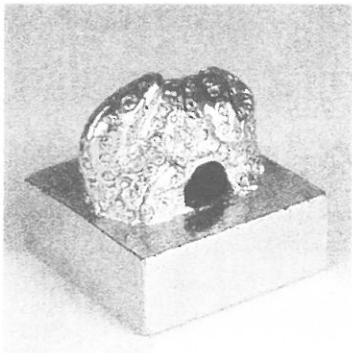
(う)人であっても征服地に土地を持つ場合は地租すなわち(え)を課せられるようになったことは、その一例である。

(7) Fと関係の深い文物として最も適当なものを、つぎのア～エのうちから1つ選
びなさい。

ア



イ



ウ



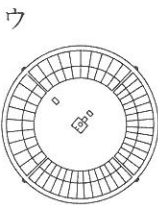
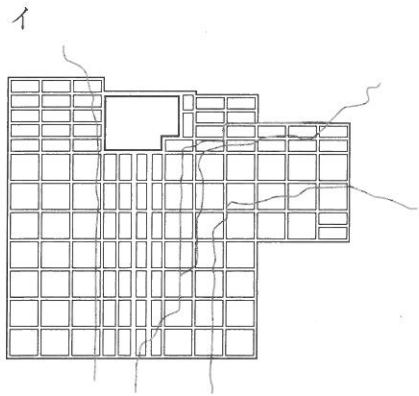
エ



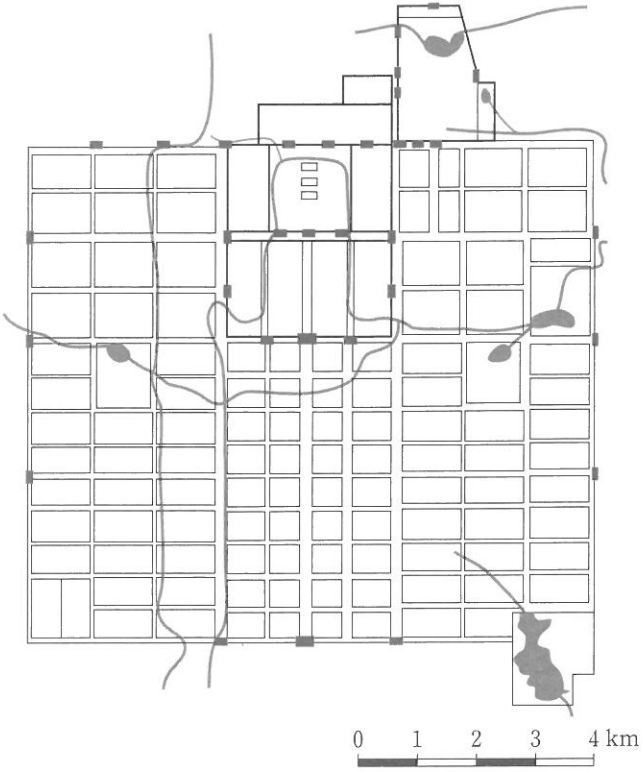
(8) 地図1の時期から地図2の時期にかけてユーラシア東部で生じた人口や経済の変動について述べた文として最もふさわしくないものを、つぎのア～エのうちから1つ選びなさい。

- ア 華北と江南を結ぶ大運河が開通し、華中・華南の海港が栄えた。
- イ Dにおいて人口の集中していた地域の多くが、戦乱によって破壊された。
- ウ 農業生産の中心が、長江下流域から長江中流域に移動した。
- エ 貴族によって江南の開発が進められた。

(9) 地図2に示した地点①・②に存在した都市を描いた図として正しいものを、つぎのア～エのうちから1つずつ選びなさい。なお、図の縮尺はすべて同じである。



H



II つぎの文章を読み、下線部分(1)~(9)について下記の【設問】に答えなさい。また空欄 (A)~(F) に適当な語句を入れ、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。(30点)

紀元前7世紀末、アッシリア帝国が崩壊し、オリエントにはエジプト・新バビロニア・(A)・(B) の4王国が分立した。前6世紀の中頃、(A) の領内にアケメネス朝ペルシアが興り、第3代の王ダレイオス1世は、先の4王国の領土のみならず、西はエーゲ海北岸、東はインダス川にいたる地域を支配下に収めた。かれは、帝国財政の基盤を固め、また、スサから(B)がかつて栄えた小アジアに位置する町サルデスまで「王の道」を作って交通網を整備するなどした。ペルシアの西方への拡張はギリシアとの衝突を招き、両者は長年にわたって戦いを交えた。

紀元前330年、アレクサンドロス大王はアケメネス朝ペルシアに勝利して、ペルシア帝国の領土と支配権を継承した。アレクサンドロス大王が掌握したアジア領は、かれの死後、セレウコス朝シリアに引き継がれ、その後、政権の弱体化が進むなかで、いくつかの王国が独立した。他方、ローマは地中海世界の支配者となることを目的に領土拡張のための戦争を遂行していた。(C) 帝の時代に、その領土は最大に達したが、五賢帝時代の終焉とともに帝国は衰退に向かい、ついに395年、東西に分裂した。西ローマ帝国がゲルマン諸族の侵入により476年に滅亡したのに対し、コンスタンティノープルを首都とする東ローマ帝国(ビザンツ帝国)は、エーゲ海と黒海に挟まれたギリシア半島と小アジアを中心(1)に一千年以上続いた。

その間、ビザンツ帝国の遙か東に位置する中央アジアでは、トルコ系セルジューク朝の勃興を見た。その始祖(D)は、西へ進み、ブワイフ朝を攻撃し、スルタンの称号を得た。セルジューク朝は、さらに西へ矛先を向け、小アジアや東地中海沿岸に進出し、聖地エルサレムを支配下においてビザンツ帝国をおびやかした。ビザンツ皇帝の救援要請を受けて、教皇(E)は、1095年に聖地回復のための聖戦を提唱した。(2)

13世紀末に小アジア北西部に興ったオスマン帝国は、中央集権的支配の制度や組織を確立し、強力で巨大な軍隊(3)をもって領土を拡張していった。そして、1453年、(4)コンスタンティノープルをおとし、(5)ビザンツ帝国を滅ぼした。その後も、ヨ

ヨーロッパ諸国はオスマン帝国の度重なる攻勢にさらされた。また、オスマン帝国は、ヨーロッパ内の勢力争いを利用し、神聖ローマ帝国に対抗するためフランスと同盟を結び、フランス商人に各種の恩恵的特権を与えた。

17世紀以降、オスマン帝国は、領内の諸民族の自立とヨーロッパ列強の進出により、弱体化の一途をたどった。しかし、19世紀に諸改革が行われ、帝国は法治主義に基づく近代国家へと体制を一新した。⁽⁷⁾そして、国内の立憲制への要求が高まるなかで、1876年、アジア初の憲法とされる（ F ）憲法が公布された。しかし、翌年にロシア=トルコ戦争が勃発すると、憲法は停止され、議会は閉鎖されてしまった。⁽⁸⁾この戦争でオスマン帝国は敗北し、バルカン半島の領土は大幅に失われた。

オスマン帝国は、第一次世界大戦に参戦して敗れ、領土は縮小された。そのようななかで、トルコ大国民議会在組織され、トルコ共和国が樹立された。⁽⁹⁾

【設問】

- (1) 6世紀にユスティニアヌス大帝が、トリボニアヌスらに編纂させた法典などを総称して何というか。
- (2) それが提唱された会議を何というか。
- (3) オスマン帝国の軍隊の主体は、ティマールを保持する騎士団とスルタン直属の常備歩兵軍団であった。後者を何というか。
- (4) この時のオスマン帝国のスルタンは誰か。
- (5) 1529年にウィーンを包囲した時のオスマン帝国のスルタンは誰か。
- (6) これは何と呼ばれるか。
- (7) 1839年にアブデュル=メジト1世が公布し、西欧化改革を本格化させたとされる勅令を何というか。
- (8) 戦後、ロシアのバルカン半島への勢力拡張を抑え、ヨーロッパ列国の利害を調整するために会議が開かれたが、その会議を主催したのは誰か。
- (9) その初代大統領は誰か。

Ⅲ つぎの文章を読み、下線部分(1)～(5)について下記の【設問】に答えなさい。また空欄（ A ）～（ G ）に適切な語句を入れ、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。（24点）

ガウタマ=シッダールタは、それまでのバラモン教⁽¹⁾における祭式やヴァルナ制を否定し、仏教を創始した。仏教は、ヴァルナ制の4つのヴァルナのうち、王族・武士階層の（ A ）や、商業に従事するヴァイシャの信仰を集め、発展した。インド最初の統一王朝であるマウリヤ朝の時代、アショーカ王は仏教に帰依し、不殺生や慈悲などからなるダルマを統治理念として宣布する詔勅を、各地の石柱や崖に刻ませた。紀元前後になると、それまでのいわゆる部派仏教に対し、衆生の救済を重視する大乘仏教が成立した。西北インドから中央アジアにおよぶ地域を支配したクシャーナ朝は、カニシカ王のもとで、現在の（ B ）に当たるプルシャプラを首都として最盛期を迎えたが、このとき大乘仏教が手厚く保護されたことは注目に値する。

大乘仏教は、中央アジアを経て中国⁽²⁾へと伝播した。中央アジア（西域）のオアシス都市（ C ）出身の鳩摩羅什は、後秦の姚興の招聘により長安で仏典の漢訳事業に従事し、中国における仏教の弘通に大きく貢献した。仏教は華北の諸国でさかんになるとともに、江南にも広がった。東晋時代の法顕は、グプタ朝の（ D ）が王であった時代にインド⁽³⁾を訪問し、仏典を中国に持ち帰るとともに、帰国後に『法顕伝』とも称される旅行記（ E ）を著したことで有名である。

他方、部派仏教のうちの上座部仏教は東南アジアへと伝播し、ビルマのピューヤ、チャオプラヤ川沿いのドヴァーラヴァティー⁽⁴⁾などでさかんに信仰された。また、大乘仏教も東南アジアに伝わった。中部ジャワにおいて（ F ）朝の時代に造営されたボロブドゥールは、大乘仏教の代表的な寺院建造物である。

このように仏教は各地域に拡大したけれども、インドにおいては次第に衰退に向かった。かわりに優勢になっていったのは、ヒन्दウー教⁽⁵⁾である。とくに6世紀ころよりシヴァやヴィシュヌなどヒन्दウー教の神々への熱烈な帰依を強調する（ G ）運動がさかんになり、民衆の心をとらえた。

【設問】

- (1) バラモン教の聖典で最も古いといわれる聖典は何か。
- (2) 大乘仏教の教理を体系化したとされるナーガールジュナの漢字名は何というか。
- (3) 法顕がインド周遊後に立ち寄ったシンハラは、現在の国でいえばどこに当たるか。
- (4) ドヴァーラヴァティーを建てた人々は何と呼ばれたか。
- (5) ヒンドゥー教の二大叙事詩とは、『マハーバーラタ』ともう一つは何か。

IV つぎの文章を読み、空欄（ A ）～（ J ）に適切な語句を入れ、解答用紙の所定の欄にその答えを正しく記入しなさい。（20点）

大西洋はヨーロッパ、南北両米大陸、カリブ海域、アフリカ大陸西岸をつなぐ海である。しかし、大西洋で縦横に人とモノが行き来するようになるのは、15世紀以降のことであった。1445年にポルトガルの探検隊がアフリカ大陸最西端のヴェルデ岬に到達し、大西洋貿易への道が開かれた。1500年には、ポルトガルがブラジルを「発見」し、1494年にスペインと交わした（ A ）条約によって、ポルトガル領となった。スペインも16世紀前半の征服活動により、中南米大陸の大半を支配下においた。17世紀、カリブ海地域におけるスペインの覇権に最初に挑戦した国は（ B ）であった。18世紀には、ヨーロッパにおける七年戦争と平行して北米大陸でおこなわれた（ C ）戦争にイギリスが勝利し、北米大陸におけるイギリスの勢力が拡大した。

16世紀後半以降、南米大陸のスペイン領で産出された銀がヨーロッパにもちこまれ、価格革命を引き起こされた。いっぽう、スペインは1571年に築いた南シナ海の貿易港である（ D ）を仲介地とした交易にも銀を使い、中国国内での銀の流通を加速させた。さらに、砂糖やタバコなどのプランテーションが南北両米大陸やカリブ海諸島でおこなわれるようになり、大西洋貿易は拡大した。たとえば、17世紀には北米大陸の最初のイギリス植民地である（ E ）でタバコ・プランテーションが発展した。

鉱山やプランテーションには大量の労働力が必要となったが、征服者による酷使や疫病の蔓延のため先住民の労働力は激減し、アフリカからの奴隷労働力の導入が拡大された。大西洋貿易以前にもアフリカ大陸では奴隷貿易がおこなわれており、15世紀半ばから16世紀末までニジェール川流域を支配した（ F ）王国はサハラ縦断ルートで金や奴隷を輸出していた。しかし、ヨーロッパの奴隷貿易への進出により、ヨーロッパを中核としてアフリカ大陸、中南米、北米東海岸を結ぶ大西洋の商業ネットワークが完成したのである。

このような大西洋貿易体制は19世紀初頭には転換期を迎えた。イギリス、アメリカ合衆国、フランスなどが相次いで奴隷貿易を廃止した。カリブ海地域では、1791

年におきた奴隷の反乱が黒人指導者（ G ）を中心とする抵抗運動に発展し、1804年、世界最初の黒人共和国としてハイチが建国された。ただし、他の地域の奴隷制が完全に廃止されるのには時間がかかった。

奴隷貿易の終焉は大西洋貿易体制の衰退を意味してはいない。19世紀後半以降、特に北米大陸とヨーロッパの間には緊密な経済関係が築かれた。19世紀に相次いで独立した南米諸国では、諸外国の資本によって欧米市場に直結した特定の産品を輸出する経済構造が確立され、諸外国のなかでも（ H ）の資本が特に多く投下された。また、ヨーロッパからの移民は南北両米大陸に労働力を提供した。

19世紀末以降、大西洋の両岸も帝国主義時代を迎えた。アメリカ合衆国はカリブ海地域やラテンアメリカへの干渉を強め、1903年にはパナマが（ I ）から独立することを援助し、大西洋と太平洋を結ぶパナマ運河の支配権を獲得した。いっぽう、サモリ帝国を滅ぼした（ J ）がアフリカ北西部の最大の支配国となるなど、アフリカ大陸はヨーロッパ諸国によって分割された。